



上峰町立上峰中学校だより

ちんぜい

No.5

発行日：令和7年9月 2日

発行者（文責）：校長 永田康子

学校教育目標：心豊かに たくましく生きる生徒の育成 ー自ら考え、判断し、行動する中学校生活を通してー
生徒会スローガン：Let's get together!～上中学生が成長し、楽しめる上中へ～

約5週間の夏休みが終わり、2学期がスタートしました。1年生は中学生として初めての夏休み。1日のスケジュールの中に「部活動」が入ってきて、これまでとは違う過ごし方をしたと思います。2年生は夏休み最後の3日間、職場体験に行きました。大変充実していたようで、「もっとやりたかった」「これまで気づかなかったことを学べた」などの感想が多くありました。3年生は、進路実現に向けてこれまでよりも学習時間を増やして、得意教科を更に伸ばしたり、苦手意識のある教科を克服するよう努力したりしたことと思います。それぞれ夏休みの過ごし方は違っていても、なにかしらやり遂げ、充実感を味わうことができたのではないかと思います。

引き続き暑さ対策を

今年の夏も猛暑日が続き、40度近くになる日もありました。もはや「危険な暑さ」と言わざるを得ない状況が日常となっています。年々、環境が変わってきていることを実感します。特に今年のような極端な気温上昇は、私たちの体に深刻な影響を及ぼす可能性があり、これまでの「夏の暑さ」の感覚では対応できません。これまでの経験や感覚に頼るのはとても危険です。今年の夏も日本のあちこちで大雨による災害が発生しました。被災された地域の皆様には謹んでお見舞い申し上げます。生徒の安全を守るためにも、学校とご家庭での暑さに対する認識を共有していく必要があると考えております。まだまだ大変暑い日が続きますので、保護者の皆さまには、暑さ対策に対するご理解とご協力をお願いいたします。しばらくは体操服登校、クールネックや日傘の使用などの対応を続けていきます。

2学期も生徒たちの活躍に期待!

2学期の始業式の校長講話で話した内容の一部です。ご家庭でも話題にいただければ有難いです。

蚤のジャンプ力は驚異的であることで知られています。成虫は体長が1ミリから4ミリほどです。羽はありませんが、最大で垂直方向に約20cm、体長が4mmとして約50倍、水平方向に約40cm、これも体長4mmとして約100倍も跳ぶことができるそうです。もし、身長160cmの人がこのジャンプ力をもっていたら、垂直とびなら80m、幅跳びなら160m跳べることになります。残念ながら私たちにはそのような驚異的なジャンプ力はありません。ただ、こんなに素晴らしいジャンプ力をもった蚤ですが、限られた狭い空間の中にしばらく入れておくと、その限られた範囲でしかジャンプしなくなるそうです。例えば、蓋をした箱の中。はじめは箱の中でぶつかりながらピョンピョン跳んでいたノミもそのうちあまり跳ばなくなるそうです。一度限界を与えられて、そこまでしかできないと感じてしまうと、それ以上のことは出来なくなるということです。では、一度限界を感じて跳べなくなった蚤は再び跳べるようにはならないのかということ、環境を整えばまた跳ぶようになるそうです。その環境とは、限られた空間に閉じ込められたことのない思いっきり跳んでいるノミを隣に置くことです。隣で思いっきり跳んでいるノミをみて、跳ばなかったノミもまた跳ぶようになる。この話から一つわかることがあります。環境が鍵だということ。上峰中学校は、皆さんたちが自分の可能性に期待し、伸ばしていける環境でなければなりません。そういう面でも先生たちは2学期も全力でサポートしていきます。そして、皆さんたちも自分で自分の限界を決めないで、自分の可能性に大いに期待してください。そうは言っても、時には、「自分は跳べない、もう跳ばなくていい」と思うこともあるかもしれません。しかし、そんな時こそ周りで跳んでいる友達からいい影響を受けてください。逆もしかりです。周りに一時的に跳べない友達がいたら、跳んでいるあなたがいい影響を与えてください。

学びは未来への力

夏休み期間中に「上峰スタディクーポン」を活用して、「学校で実施する夏期講習」に多くの生徒たちが参加していました。8月からクーポンが利用できることになっていますので、他にも様々な学びに活用されていることと思います。夏期講習に参加していた生徒たちも集中してよく学んでいました。

義務教育の期間は、子どもたちが大きく成長する時期であり、社会で生きていくための力を育む大切な時間です。学校で学ぶ内容は、単に知識を身に付けることだけではありません。友だちとの関わりや集団生活を通して、思いやりや協力することの大切さ、ルールを守って生活する力も養われます。義務教育は全ての子どもに等しく保障されています。その学びの積み重ねが、子どもたちの自立や夢の実現につながります。今学期も、学校と家庭とが力を合わせ、子どもたちの未来をしっかり支えていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

「上峰スタディクーポン」の本登録がまだお済みでないご家庭がございましたら、登録をお願いします。3万円のスタディクーポンを活用しないのは、子どもたちの学ぶチャンスを逃すことになります。学びは子どもたちの未来への力です。

情報モラルを育てるために

8月25日(月)付けて生徒指導主事から発信しました「栄えあり上峰」は情報モラルについての特集でした。スマートフォンやインターネットは、生徒たちの生活に欠かせないものとなっていますが、その一方で SNS のトラブルや個人情報の流出など、思わぬ危険につながることもあります。だからこそ「情報モラル」を育てることが大切です。学校では、授業や日々の指導を通して、正しい知識と安全な使い方を身に付けるよう働きかけています。しかし、それだけでは十分ではありません。家庭での生活の中で、実際にどのように使うかが大きな鍵となります。「栄えあり上峰(情報モラル号)」をご一読いただき、ご家庭で話題にしていただけると安心です。学校と家庭が一緒になって支えていくこと、そして生徒が困ったときに相談できることがトラブルを防ぐ大きな力になります。ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

上中学生の象徴「ひまわり」



校門を入ってすぐ横の花壇にひまわりが3本、コスモスが2本育っています。3年生の生徒たちが種から育てているものです。花壇の草むしり、土づくりから始めました。毎日の水やりを欠かさず、虫食い対策もしています。夏休み中も、お世話を欠かさず育てていました。

「花壇に花が咲いていないから、自分たちで種を持参し、自分たちで管理して育てている」という姿は、本校の教育目標「心豊かに たくましく生きる生徒の育成 ～自ら考え、判断し、行動する中学校生活を通して～」を日々の学校生活の中で実現させているものです。酷暑の中でもすくすく育っているひまわりは、まさに成長している生徒たちを象徴しているようです。現在、ひまわりは写真のように大きく育ち、大きな花を咲かせる日を心待ちにしています。

外掲示板のグッとくる言葉

2学期から、コンピューター部のメンバーが外掲示板に全校生徒に向けたメッセージを掲示しています。まさに自分たちの今に必要な名言や格言だったり、ことわざだったり厳選しています。9月は「今日できることを明日に延ばすな」ベンジャミン・フランクリンの言葉です。これからもグッとくる言葉を楽しみにしています。保護者の皆さまも学校においでの際は外掲示板にご注目ください。

